In April 2022, Osaka City University and Osaka Prefecture University marge to Osaka Metropolitan University

Title	「学修支援システム(Learning Management System :LMS)WebClass の授業等での活用について ： 実践事例紹介+活用相談」
Author	飯吉, 弘子
Citation	大阪市立大学大学教育. 17 巻 2 号, p.58.
Issue Date	2020-04-30
ISSN	1349-2152
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	Publisher
Publisher	大阪市立大学大学教育研究センター
Description	大阪市立大学全学 FD 事業・大学教育再生加速プログラム(AP)： 第 24 回 FD ワークショップ(授業デザイン WS(13))/第 4 回教育支援セミナー報告
DOI	10.24544/ocu.20200622-005

Placed on: Osaka City University

Osaka Metropolitan University

大阪市立大学 全学FD事業・大学教育再生加速プログラム（AP）
第24回FDワークショップ（授業デザインＷＳ⑬）／第4回教育支援セミナー報告

「学修支援システム（Learning Management System :LMS）WebClassの授業等での活用について:実践事例紹介＋活用相談」

テーマ：WebClassの授業での活用について
日　時：2019年12月20日（金曜）
時　間：13時00分～ 15時15分
　　第１部　授業実践事例紹介　13時～ 14時
　　第２部　授業での活用相談会14時15分～ 15時15分
場　所：全学共通教育棟４階　外国語特別演習室５
事例紹介・活用相談者：平 治彦氏（日本データパシフィック株式会社代表取締役）
企画・司会：飯吉弘子（大学教育研究センター）
主　催：大阪市立大学 大学教育研究センター・AP事業プロジェクト推進委員会
共　催：大阪市立大学 全学FD委員会・全学共通教育教務委員会

本学の全学FD事業の一環として、多人数の教員向けのシンポジウムや研究会とは別に、小規模のWS形式の企画もこれまで多く実施してきました。その一つとして、教員が授業をデザインする際にさまざまな工夫を取り入れている授業事例を紹介し、その事例から学び、互いに授業内容を高めていくための意見交換をする場として、授業デザインワークショップを開催しています。

今回は、本学の英語教育改革上のニーズや2017年度に実施した本学の教育・FDに関する教員の意識調査の結果を踏まえて、2019年10月から本学で導入された、WebClassという学修支援システム（Learning Management System :LMS）についてのワークショップを開催しました。このシステムは、授業における教材の共有や学生への伝達、小テストや簡易アンケートの実施、課題やレポートの提出など、授業時間内外の教育･学修を支援するシステムであり、学びの記録等を蓄積していくポートフォリオの機能もあるものです。教務事務システムとの連動が行われているため、履修学生との連絡が容易に行えます。

学生の学びを深め定着を促進するために有効な能動的学修をひき出す教育実践は、手間も時間もかかるため教員の負担は大きくなります。LMSは、そのような教員の負担を軽減することに役立つ可能性があります。

このような学修支援システムWebClassを開発された日本データパシフィック株式会社の平代表取締役から、同システムの他大学等での実際の授業での活用事例の紹介や、本学の先生方からの、活用方法等の相談を行っていただきました。前半第１部で事例紹介、後半第２部で活用相談会に分けて開催しました。

参加者は22名でした。学内の理系を中心とする部局からの教員参加や、職員の一部参加もありました。

参加者のアンケートからは、今回の内容が具体的で役に立ち、今後の教育実践で活用してみたいとの意見が多く寄せられました。

今回は、会議等が重なった部局もあったため、講師の了承も得て、録画記録を行ったものを、あとから利用しやすい形で編集も行った上で、学修支援推進室においてeラーニング教材化して、幅広く学内の教職員が視聴利用できるような形でも提供していく予定です。

（飯吉弘子）